



# 山鹿－熊本線「休日学生限定！往復乗車券」販売・PR継続と他路線への横展開について

発表者：西園 知哉

所属：産交バス（株） 営業企画課 共同経営推進室担当

産交バス宣伝キャラクター  
産太くん

## 1. 山鹿－熊本線「休日学生限定！往復乗車券」の販売・PR継続状況について

### ① 2019年9月14日（土）熊本県内バス・電車無料の日



「サクラマチ」や郊外へ、休日混雑 熊本県内でバス・市電運賃無料

9月14日（土）1日限り  
熊本県内バス・電車無料の日

便数：26便/日/片道（日祝ダイヤ）  
所要時間：約1時間10分～1時間20分  
片道運賃：**950円**（山鹿BC～桜町BT）

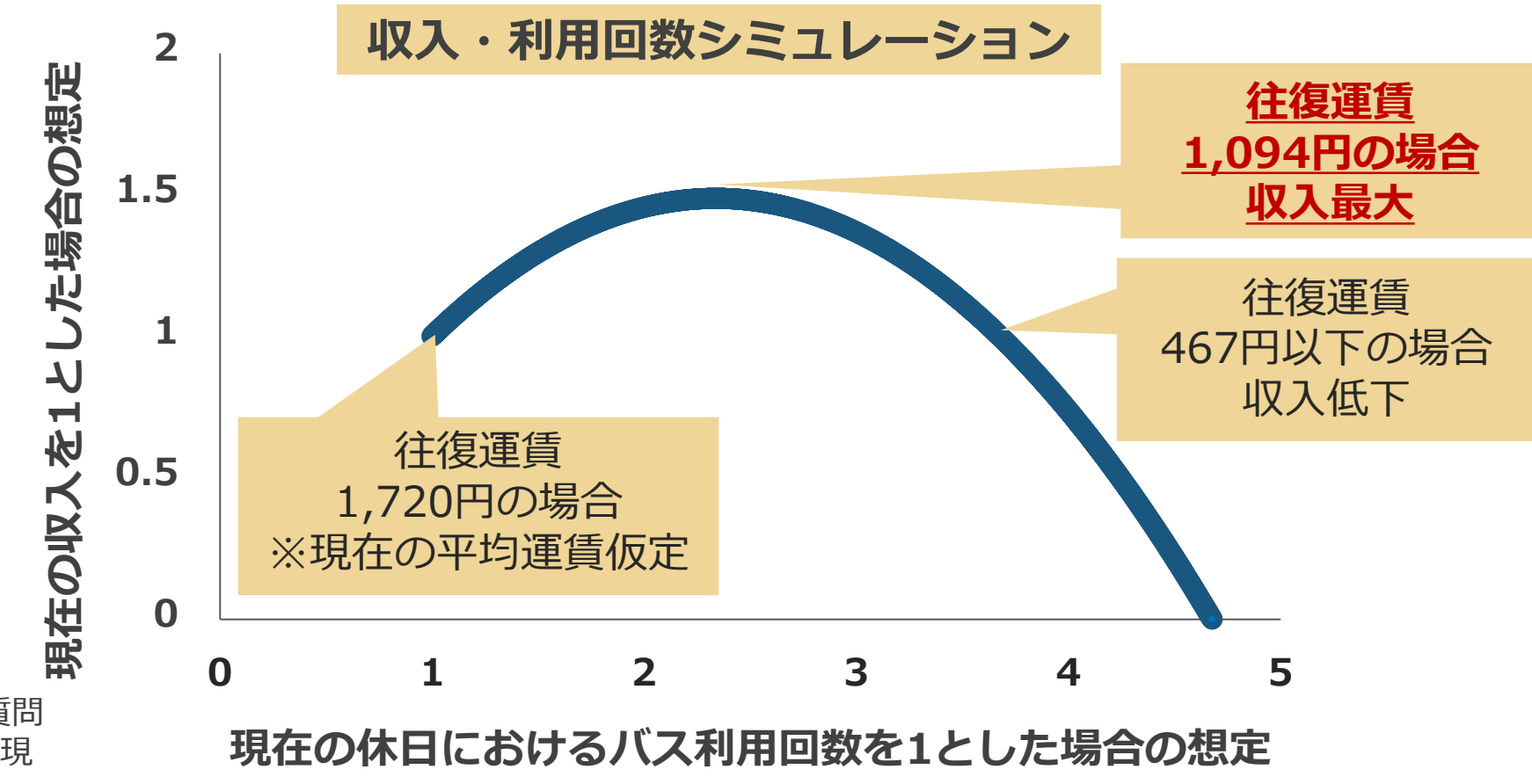
山鹿方面**3.5倍**の利用！長距離路線が故に**運賃弾力性**が高い可能性

山鹿－熊本線を対象とし「学生」「非日常目的」「休日」に着目して利用促進にチャレンジ

### ② 運賃弾力性の計測

重回帰分析 ※被説明変数：利用回数/月

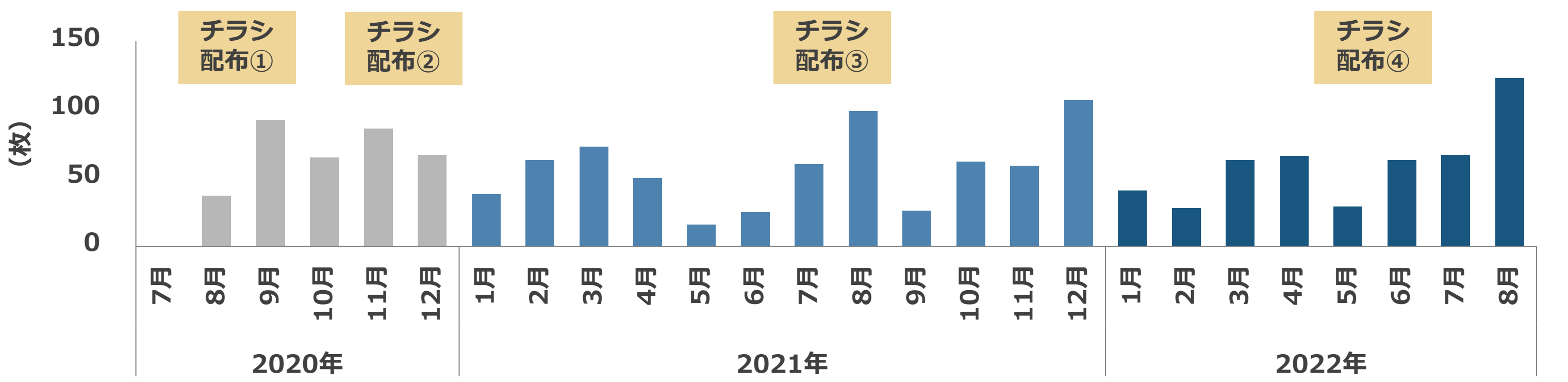
説明変数	パラメータ	t値
定数項	3.2295	8.5190
往復運賃（円）	-0.0023	-15.2084
利便性評価	0.4204	4.1394
ヘビークーザダミー	3.6928	14.5278
自由度調整済み決定係数	0.5771	
サンプルサイズ	342（114×3ケース）	



運賃を適切に引き下げることで**利用増加・収入増加**の可能性

2020年7月25日より山鹿－熊本線「休日学生限定!往復乗車券」を通常往復運賃の約半額**1,000円**で販売

### ③ 販売・PR継続 ※現在は通年販売へ移行



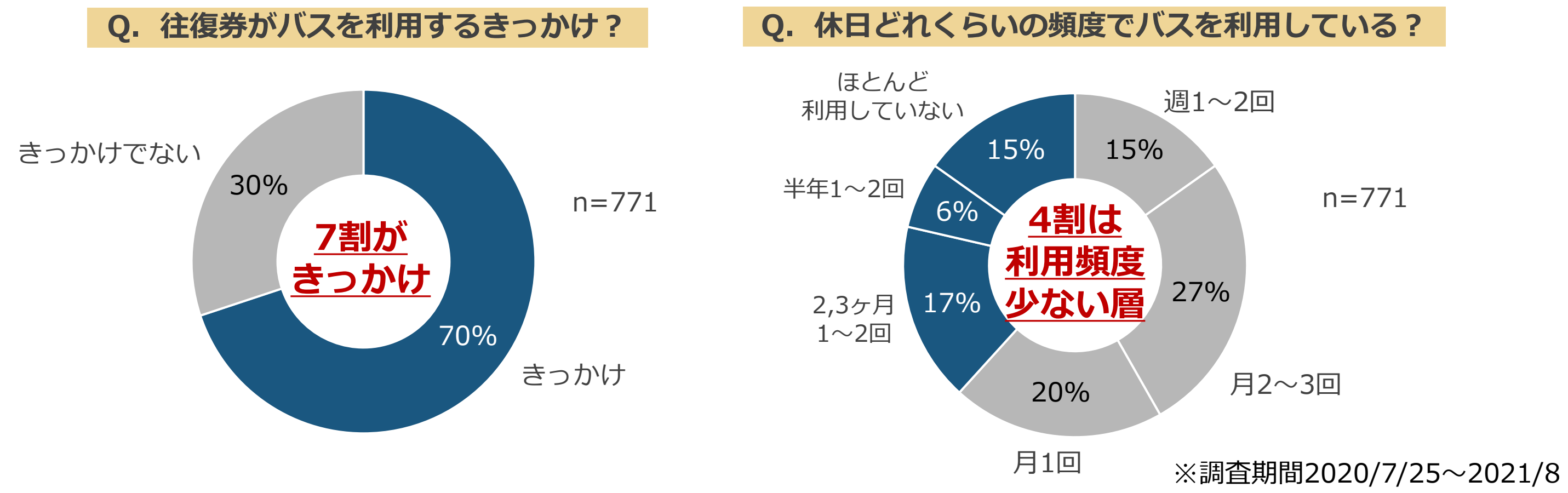
チラシは学校の協力をいただき配布 **社会インフラと位置付けてもらうため 活動・対話を継続することが必須**

※2022.8.21現在 ※2021年,2022年8月は全日利用可

配布するチラシには **社会的問題についても明記**

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けながらも **販売・PRをしっかりと継続することで販売枚数は増加傾向**

### ④ 利用促進効果



利用促進効果 × 熊本市での平均消費額 = 消費効果

**1,054人** × **3,584円/人** = **378万円/人**

※販売枚数×7割（利用促進効果） ※調査期間（2020/12～2021/8）n=53  
※販売枚数は2022.8.21現在

休日に山鹿－熊本間を利用する **学生約3倍、収入約2倍増加**の可能性 **バスの利用促進により消費効果も出た可能性**

※増収効果：往復券がきっかけの場合は+1,000円 きっかけでない場合は-720円（平均運賃仮定）

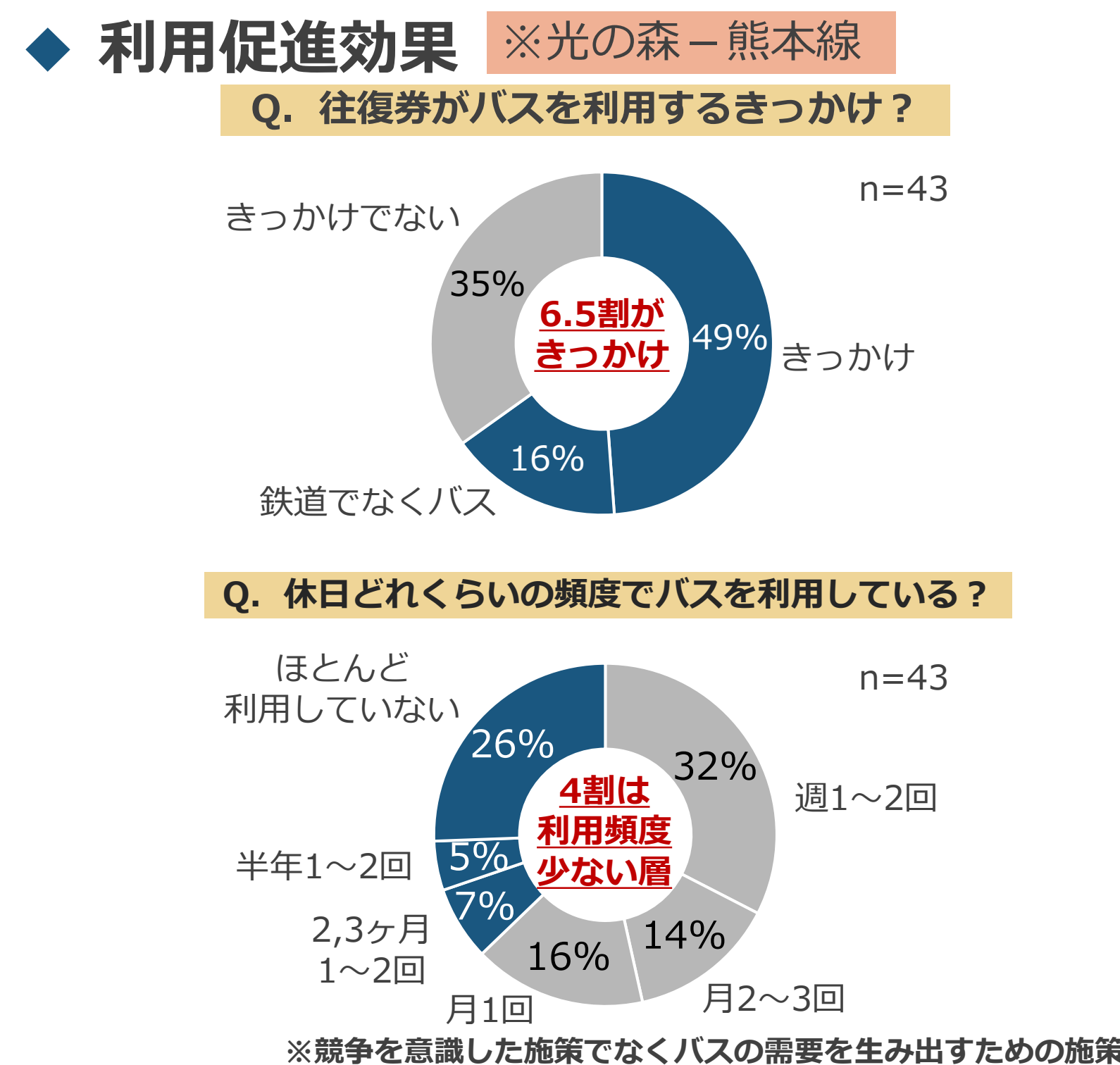
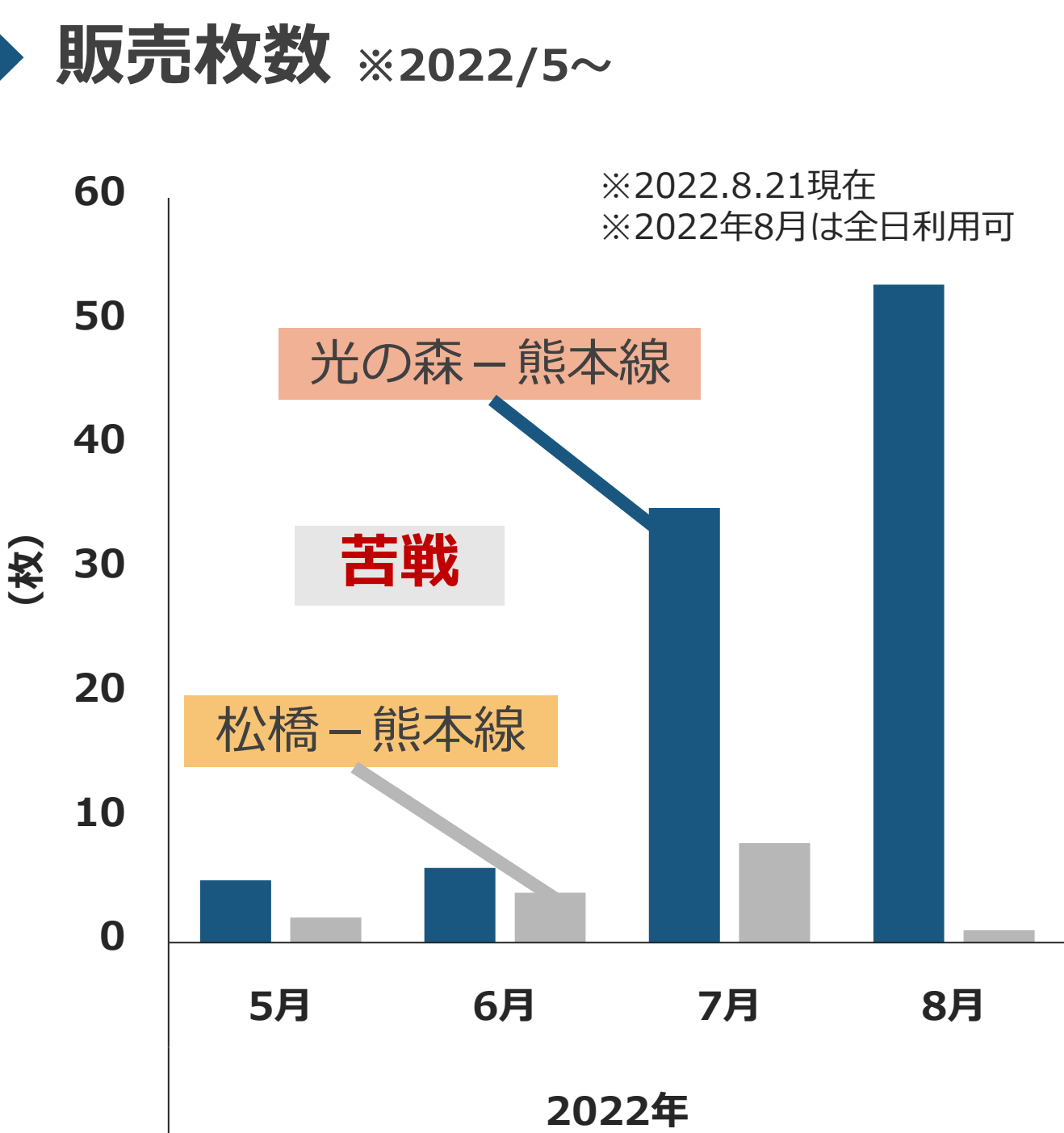
## 2. 「休日学生限定！往復乗車券」他路線への横展開について

※現時点では今年度末までの限定販売 通年販売への移行も効果を見て検討予定

### ① 中距離路線

★**光の森－熊本線**★  
便数：60便/日/片道（日祝ダイヤ）  
所要時間：約50分  
片道運賃：**540円**（光の森産交～桜町BT）

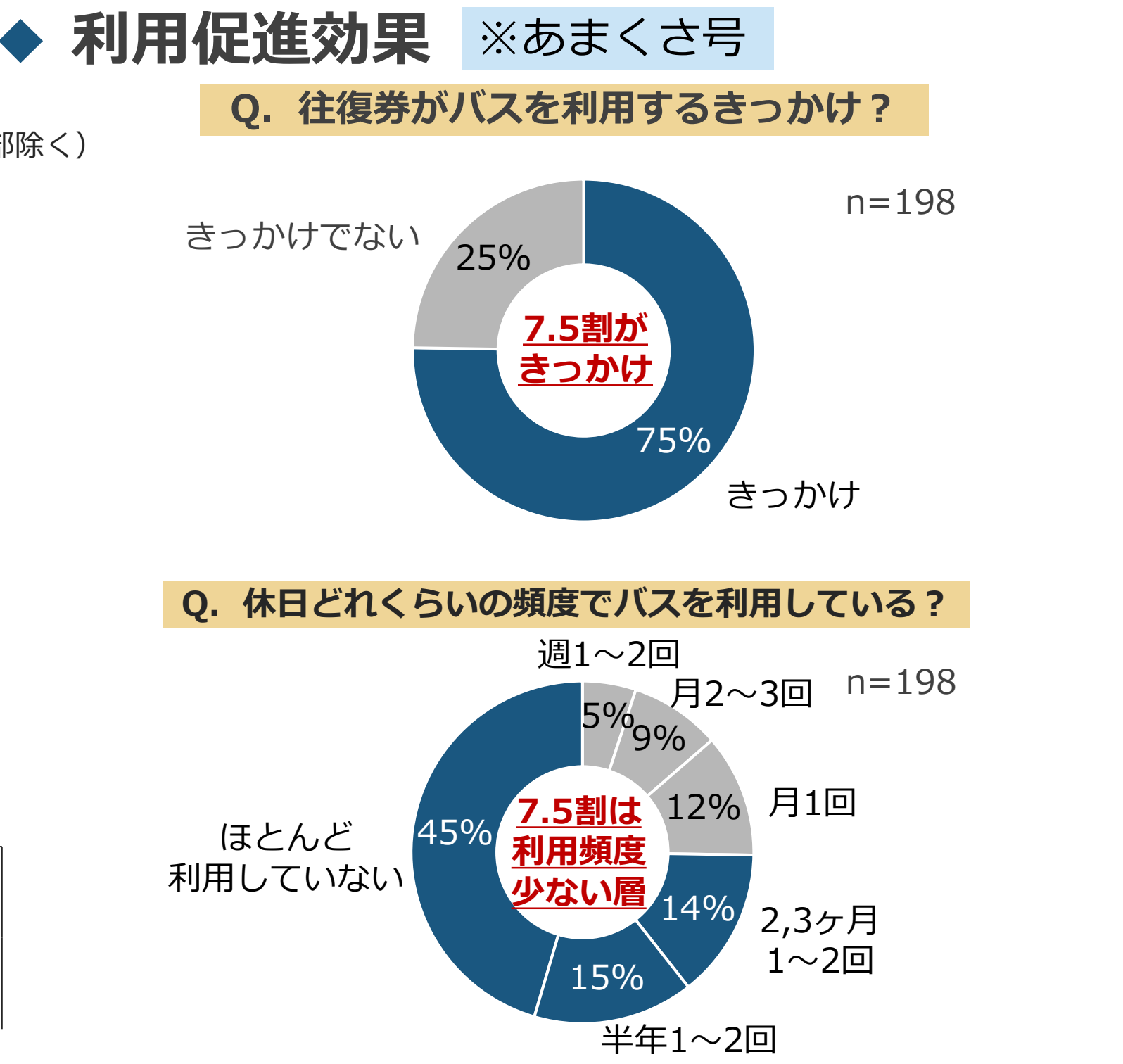
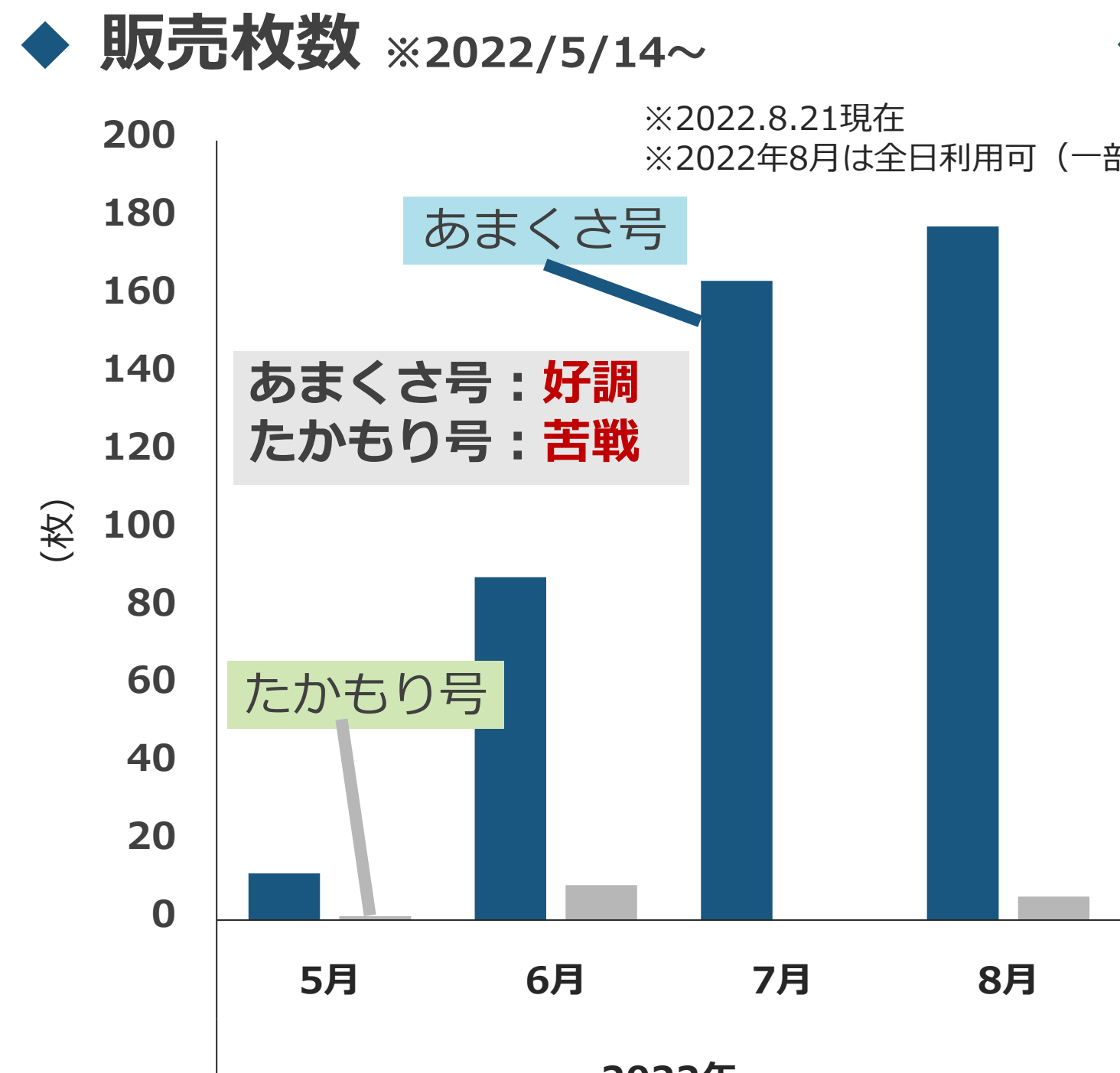
★**松橋－熊本線**★  
便数：18便/日/片道（日祝ダイヤ）  
所要時間：約50分  
片道運賃：**660円**（松橋産交～桜町BT）



### ② 長距離路線

★**たかもり号**★  
便数：3便/日/片道  
所要時間：約1時間45分  
片道運賃：**1,030円**（高森中央～桜町BT）

★**あまくさ号**★  
便数：10便/日/片道（減便中）  
所要時間：2時間42分  
片道運賃：**2,280円**（本渡BC～桜町BT）



- ・単価が低く運賃弾力性が低い可能性
- ・競合モード存在（鉄道）影響の可能性
- ・郊外ショッピングモールの充実が影響か
- ・現況、販売枚数が少なく効果は限定的
- ・バス利用頻度が少ない利用者あり（新規需要）
- ・鉄道から転換は僅かで全体需要の底上げ
- ・あまくさ号は運賃弾力性の高さが反映か
- ・たかもり号は便数・市場が小さい影響か
- ・利用促進に大きく寄与している可能性
- ・割引を行っても増収に寄与している可能性